

## 安全データシート

作成日:2014年3月28日

**1. 化学品**

**製品名/化学品の名称 :** パイオラン<sub>®</sub>クロス粘着テープ

**及び会社情報**

**梱包用テープ K-10-WH**

**会社名 :** ダイヤテックス株式会社

**住 所 :** 富山県黒部市沓掛2000番地

**担当部門 :** 品質保証グループ

**電話番号 :** 0765-52-1732

**FAX 番号 :** 0765-54-2768

**緊急連絡先:** 同上

**2. 危険・有害性の** **危 險 性:** 通常の取り扱いでは、危険性はない。**要約**

**有 害 性:** 高分子量化合物では生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。

**環境影響:** 特段ないと思われる。

**GHS分類:** 分類基準に該当しない。

**3. 組成、成分**

**単一製品 ・ 混合物の区別 :** 混合物

**情報**

<b>化学品名</b>	①ポリエチレン樹脂	②アクリル酸エステル共重合物	③着色剤(ホワイト)
CAS.No	9002-88-4	非開示	非開示

**4. 応急措置**

**目に入った場合** : 直ちに流水で充分に洗眼する。

**取扱い中に粘着剤が** : 水または石鹼水で充分洗浄する。もし、皮膚に炎症

**皮膚に付着した場合** : を生じたときは、医師の手当てを受ける。

**吸入した場合** : 加熱溶融時(焼却時など)に発生する蒸気、ガスを大量に吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移動し、異常が認められる場合は、医師の手当てを受ける。

**飲み込んだ場合** : 大量に飲み込んだ場合は直ちに吐き出させ、異常が認められる場合は、医師の手当てを受ける。

**5. 火災時の措置**

**消火方法:** 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

移動可能であれば、速やかに安全な場所に移動させる。

周囲の設備等に散水して冷却する。

消火作業の際は、適切な保護具を着用する。

**消 火 効:** 噴霧水、粉末、炭酸ガス、アルコフォーム、乾燥砂

**6. 漏出時の措置**

くずなどは容器に集め廃棄処分する。

7. 取扱い及び  
保管上の注意      取扱い: 人体、車のボディーなどには直接貼らないこと。  
                          家具、壁、ガラスなどに貼る場合は、事前に充分試験をして貼ること。  
                          電気絶縁用には使用しないこと。  
                          貼る面のホコリ、油分、水分などをよく拭き取ってしっかりと押さえ貼りつけること。  
                          保 管: 直射日光を避け、涼しい所で保管する。

8. 暴露防止  
及び措置      管理濃度: 管理濃度は規定されていない。  
                          許容濃度: 日本産業衛生学会、ACGIH ではこの物質の許容濃度を設定していない。  
                          設備対策: 特になし。  
                          保 護 具: 必要に応じて着用する。

9. 物理／ 化学的性質	外 観 等: 粘着テープ			
化 学 的 性 質	化 学 品 名	①ポリエチレン樹脂	②アクリル酸エステル共重合物	③着色剤(ホワイト)
	融    点	100~145°C	知見なし	知見なし
	比    重	0.90~0.95	知見なし	知見なし
	溶    融    度	水に不溶	水に不溶	水に不溶
	引    火    点	300°C以上	—	—

10. 安定性、反応性 安定性: 通常の取り扱い状態において安定

11. 有害性情報 刺 激 性: 皮膚刺激性 物理的な刺激  
                          眼刺激性 物理的な刺激  
                          急性毒性: 生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。

12. 環境影響情報 分解性、蓄積性: 知見なし

13. 廃棄上の注意 焼却炉で焼却する。または、産業廃棄物処理場に埋め立てる。

14. 輸送上の注意 容器・包装は破損のないことを確かめ、落下、損傷のないよう積込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令 消 防 法: 指定可燃物 合成樹脂類

16. その他情報 本データシートは、弊社の持つ知見をもとに充分注意を払って作成しております。しかしながら、この記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性、引用文献の内容・全ての生体影響の網羅を保証するものではありません。

使用におかれましては、適用法令に従うとともにこの安全データシートを参考に、使用に即した取扱い上の注意を検討確立して下さい。